

エッセンシャル脊椎・脊髄の画像診断

上谷雅孝・神島 保・藤本 肇・森川 実・編

評者 高畑雅彦 (北海道大学大学院医学研究院
整形外科科学教室 准教授)

B5判・456頁
2022年7月
定価：10,450円
(本体9,500円＋税)
ISBN978-4-8157-3049-9
MEDSi 刊



本書をめぐって驚いたのは、日常診療で遭遇する機会の多い加齢変性疾患から、まれにしか経験しないような珍しい疾患まで私が大学病院で経験してきたほとんどすべての疾患が網羅されていた点です。これがあれば事足りる！というのが第一印象で、脊椎脊髄疾患の診療におけるまさに“エッセンシャル(不可欠な)”テキストと言えると思います。

本書は脊椎・脊髄疾患の“画像診断”というタイトルですが、その内容は画像診断を中心におきつつも、病態や診断分類、治療まで及んでおり、整形外科あるいは脊椎脊髄外科専門医を目指している医師の知識修得に大変適しています。要点は項目ごとにすべて箇条書きで書かれており、読みやすさに工夫が凝らされています。また、実際の症例の画像が丁寧な解説付きで提示されており、とてもわかりやすい構成になっています。画像は厳選されたわかりやすいものが使われており、さすが放射線科の先生たちが作ったテキストです。治療方針に関わる最新の画像診断分類も掲載されており、症例検討会などでも力を発揮するきわめて

実用的な本でもあります。疾患の本質や最新知識、診療上の注意点をまとめた“ノート”も秀逸で、そこを読むだけでも他の医師と一歩差がつくこと間違いありません。

脊椎脊髄疾患の画像診断は常に進歩しており、診断の精度向上や治療においてその知識のアップデートはエキスパートにとっても不可欠です。適切な画像診断は患者の利益につながることから、最新知識の習得は専門医の義務とも言えます。本書では、最新の画像診断の知識が解説されているだけでなく、診断に迷うようなまれな疾患も網羅されていることから、エキスパートにとってもきわめて有用なテキストです。術後変化の項は、通常のテキストでは取り上げられることの少ないトピックスであり、本書がいかにも実臨床を意識して作成されたかがよくわかります。

本書は整形外科医だけをターゲットにしたものではありませんが、脊椎脊髄診療に関わる整形外科医にとって必読書のひとつであり、また日常診療における強力なパートナーとして傍においておきたい本のひとつです。